※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)造形演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■ デッサンやスケッチなどに関する学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、対象のイメージや空間、形体などを把握し、表現材料の特性を理解し、表現を工夫しながら的確に観察する力を高め、造形表現を追求する態度を養うことをねらいとしている。

■ 平面構成や立体構成の学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美術の多様な創造活動に豊に関わることができるよう、形体・色彩、材料、美的秩序等、造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能や、造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力や判断力等を身に付けるようにし、造形感覚を高めようとする態度を養うことをねらいとしている。

2　学習の到達目標

素描や色彩構成を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊にし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を以下の通り身に付ける。

① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。

② 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに構想を練り、自己の価値意識を高めて美術や美術文化に対しては多様で豊かな見方や感じ方ができる。

③ 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していくことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・表現材料の特徴を生かせるよう理解を深めるとともに、対象を深く観察したことを基に表現を工夫して的確に表している。 ・造形的な創造活動に関わる諸要素やその働きについて理解を深めるとともに、発想や構想をしたことなどを基に様々な表現方法や材料や用具を工夫して独創的・創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を豊かにし、多様な美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	鉛筆デッサン　素描	【素描】 ・模写 モノクロ印刷画像(レオナルドダヴィンチ『岩窟の聖母』天使ウリエルの顔)の模写 対象物を陰影で表現する	a:対象や事象を捉える造形的な観点について理解を深めている。 b:作者の心情や表現の意図と創造的な表現について考え見方や感じ方を深めている。 c:美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作者の表現の意図と創作上の工夫の仕方について考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業観察 作品	授業観察 作品	授業観察 作品
		・基本的な石膏幾立体のデッサン 立体感の表現 光源の方向を想定し陰影法による立体感のある表現ができるようにする。 ・身近な対象物の素描 異なる材質の対象物の光沢感や質感の違いを表現できるようにする。 ・静物デッサン 複数のモチーフ用い配置の良い構図を考える。形の特徴や色の明度差、大きさの違い等を考慮し、緊張感のある配置が出来るようにする。	a:造形の要素の働きを理解し、視覚的効果や伝達機能について理解を深めるとともに、対象を深く観察して工夫しながら、的確に描写する基礎となる技能を身に付けている。 b:対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力等が身に付いてきている c:学習を通して、しっかりと対象を見つめ考察を深めたり、表現材料などを研究し取り入れるなど、造形表現を主体的に追求しようとしている。	授業観察 (制作プロセスの観察) 作品	授業観察 (制作プロセスの観察) 作品	授業観察 (制作プロセスの観察) 作品
後期	構成	【構成】 ・身近にあるものをモチーフにして画面構成しイメージを膨らませて自由に着際する。 立体構成 ・紙で幾何立体を作る出来た幾何立体を用いて緊張感のある空間を表現する立体構成作品を制作する	a:形体・材質の特徴から受ける印象を活かし、まとめて全体的に捉えることを理解している。 b:モチーフから感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、それに応じた表現技法を模索するなど表現の可能性について考え表現の構想を練っている。 c:主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	授業観察 アイデアスケッチ 作品	授業観察 アイデアスケッチ 作品	授業観察 アイデアスケッチ 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度